

町の無料相談

相談種類	日にち	時間	相談場所	申込み・問合せ	
法律相談	弁護士	8/13(火)、8/26(月) 9/10(火)、9/24(火)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313 (要予約)
	行政書士	8/21(水)、9/18(水)	10:00~15:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313
人権・行政相談	8/8(木)、9/12(木)	13:30~16:00	役場会議室	役場総務課 ☎④313	
成人健康相談	8/1(木)	10:00~11:00	役場1階町民ホール	保健センター ☎294-5511	
	9/2(月)	10:00~11:00	保健センター		
電話健康相談	平日	9:00~17:00	保健センター ☎294-5511		
育児ほっと相談室	8/21(水)、9/18(水)	10:00~11:00	保健センター	保健センター ☎294-5511	
もの忘れ相談会	毎月第3木曜日	10:00~12:00	中央公民館	地域包括支援センター ☎295-2112④126	
子育て相談 なんでも話してみよう	平日 ※オンライン相談あり	10:00~15:00	役場相談室 子育て支援センター	子育て支援センター ☎294-4820 (要予約)	
教育相談	平日	10:00~16:30	教育センター ☎295-2525 (電話相談可)		
心配ごと相談	平日	8:30~17:00	社会福祉協議会(毛呂山町川角303-3) ☎295-0601		
消費生活相談	毎週月・火曜日	10:00~15:00	役場相談室	役場産業振興課	
生活困窮者自立相談 ※生活保護受給者以外	平日	8:30~17:00	アスポート相談支援センター埼玉西部毛呂山出張所 (社会福祉協議会内) ☎080-2274-1445		

歴史散歩

第362回

毛呂山と学童疎開
～手紙に込めた親の気持ち～

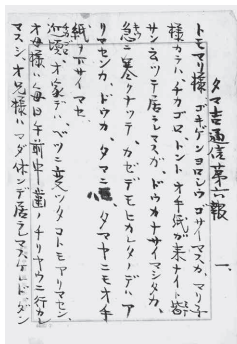
昭和20年(1945)8月15日の太平洋戦争終結から、間もなく79年が経ちます。当時の日本が、最初に空襲に遭った昭和17年(1942)4月以降、戦局が悪化してくると、都市部から友達や家族と別れ、地方の親せきなどを頼って疎開する児童がいました。そして、さらに昭和19年(1944)になると、国民学校の児童が集団で疎開する学童疎開が行われるようになりました。今から80年前の昭和19年8月、毛呂山町にも東京市日本橋区東華国民学校の児童が、長栄寺(小田谷)に4年生男女と6年生男子合わせて100人、高福寺(滝ノ入)に6年生女子55人が疎開してきました。また、5、6年生男子55人、3年生男女と5年生女子約80人もそれぞれ現在の坂戸市内や越生町内に疎開しました。

疎開してきた児童は、慣れない土地での生活に苦労しましたが、受け入れ側の毛呂山町では、地元の人たちが献身的に泊まり込みで炊事などの世話をしました。長栄寺に疎開した児童は、近くの家に二人一組で宿泊するこ

ともありましたが、日ごろ食べていた雑炊ではなく、白米を食べさせたということです。当時疎開していた児童は、実家から送られてくる布団の縫い目の糸に母の温もりを感じ取ったり、親からの手紙に励まされたそうです。「…布団に余裕がなく、少しずつ綿を集めて布団を仕立てたため薄物ですが、寒さに耐えてください。戦争は必ず終わるから。それまで辛抱して、風邪に気を付けなさい。」

手紙の検閲は厳しく、疎開は辛い、寂しいなどの感傷的な内容は好ましくないとされていました。家族は、検閲に触れないよう、我が子に思いを届ける工夫をしていました。4年生と6年生の女子が疎開していた父親は、寂しい気持ちを、飼いのネコ「タマ」の言葉を借りて綴っています。「タマ吉通信」と題した手紙には「…近頃はもう、すっかりさびしくなったもんだからタマやをいぢめるどころじゃありません、トマリ様の代わりに可愛いくてしかたがないと云う風に大事に大事にして下さるんです…」

高福寺に疎開していた6年生は、受験のため昭和20年3月2日に東京に戻りました。そして8日後の3月10日、10万人以上が犠牲となった東京大空襲に見舞われてしまいました。



『タマ吉通信』
第六報の書き出し